

いわてマガジン

岩手県広報誌

2018
12月号



岩手高等学校囲碁・将棋部1年
橋本力^{りき}さん

特集1 ラグビーワールドカップ2019(TM)
日本大会 釜石開催に向けて

世界と新たな
絆を結ぼう!!

特集2 道路の除雪

みんなの力で
冬道を快適に!

海の遊びを通して
一緒に山田を元気にする
仲間をつくりたい。

みんなの力で
復興スクラム!



「山田の子どもたちにも海の楽しさを伝えたい」と話す、代表の川村将崇さん。



GEOTRAIL(ジオトレイル、山田町)

「山田町ならではの遊び、体験を提供する事業を立ち上げよう」。家のうどん店で働かたわら、震災後のまちづくりにつながる活動を模索していた川村将崇^{まさたか}さんは、平成26年にシーカヤックツアーのガイドをする「ジオトレイル」を設立しました。小・中学校時代、山田湾に浮かぶオランダ島にシーカヤックで友達と何度も渡り、体感した海の楽しさが忘れられず、「次世代に伝えたいと思いました」と話します。

その頃、町内では、個々に実施されていた体験プログラムが一元化され、窓口業務を担う「やまだワンダフル体験ビューロー」が立ち上がり、シーカヤック体験の申し込みも徐々に増加。三陸の観光や地域活性化に取り組み人たちとのつながりも生まれ、協力し合えるようになりました。

しかし、「活動を続けるためには、地域内で同じ思いを持つ仲間の輪をさらに広げることが大事」と川村さん。食に関わる事業者と共同での商品開発や、山田の宝を見つけて共有するコミュニティを立ち上げるなど、町の魅力を掘り起こしています。

やまだくじら大学

山田の宝を見つけ、共有して楽しむ集まり。「体験もの探検部」や「ランチ部」など、思い思いの部を立ち上げて、情報発信や仲間づくりをしています。



シーカヤック体験

初心者も楽しめるシーカヤックで、山田湾やオランダ島周辺をツーリング。ホタテなどの試食も合わせて、山田の海の魅力を伝えます。



やまだ地産地消LAB.

うどん店や菓子店、漁師の産直で共同運営する食の研究所。菓子作りや漁師の海鮮焼き体験のほか地産地消の商品開発を行なっています。



ちんこきょうだいの
いわての **とってよいき!**

魅力わんこ盛りのいわてから、いいもの、面白いものをよりすぐり。毎回わんこきょうだいがナビゲートします。

今月のテーマ
暮らしを彩る竹細工

冬の手仕事が生んだ竹細工

良質なすす竹が自生する一戸町の鳥越地区は、古くから竹細工の名産地。農家の冬の手仕事として、籠やざる、弁当箱など、暮らしの道具をたくさん生み出してきたんだよ。

編み目の美しさは技術の証

特徴的なのは、繊細できれいな編み目。特に内側と外側の両方に表皮が出る「合わせ編み」は、高度な技が必要なんだって。しなやかで壊れにくく、使い込むほどに独特の風合いが出るんだ。

時代に合わせて使い方が変化

職人さんが一つひとつ手作りする竹細工は、工芸品や自然素材が好きな方に大人気。今の暮らしに合わせて、インテリアやファッションに取り入れて楽しむ人が増えているんだって。

美しい編み目に
評価が高まる、
こだわりの竹細工。



実用的で丈夫なざる

モダンな手提げかご

材料となるすす竹の収穫期は、霜が降りる11月ごろ。ざるには少し固めのもの、手提げかごには柔らかくて色がきれいなものと、つくり手のこだわりや竹細工の種類によって使い分けられています。

今月の表紙

橋本力(りき)さん



千葉県出身。岩手高校1年。2017年第38回全国中学生選抜将棋選手権大会と2018年第31回全国高校将棋竜王戦で優勝。

昨年は中学生選抜将棋選手権大会、今年は高校将棋竜王戦を制し、2年連続の快挙を成し遂げた橋本力さん。5歳の時から将棋を始めた橋本さんですが、将棋一辺倒ではなくサッカーにも熱中する少年でした。

選択を迫られたのは、小学6年の時。「将棋がサッカーか、どちらかの道を選びなさい。このままでは両方とも中途半端になる」と、両親に言われた橋本さんは、千葉県から全国屈指の囲碁・将棋部がある盛岡市の岩手中学校に進学。親元を離れ、棋力を研さんする

道を選びました。「岩手に来て良かったと言えるように、必ず結果を出してやる!」そう心に決め、毎日6、7時間は練習しました。橋本さんと同様に県外から強豪が集まる部の練習は、ハイレベル。互いにしのぎを削りながらも、基本にあるのは「将棋を楽しむこと」。練習内容も生徒たちが決め、学年を超えてみんな仲がいいのだとか。寮生活を送る寂しさも、「仲間の存在に支えられた」と振り返ります。

竜王戦王者の座をつかんだ今、橋本さんが狙うのは、高校将棋の全タイトル制覇。残す高校将棋新人大会と高文祭の戦いに、得意の早指しで挑みます。「早めの局面で仕掛け、最後まで油断しないように終盤力を鍛えたい」。その先に見据えるのはプロの道です。

ラグビー世界ランキング1位のニュージーランドから高校生が来県

9月27日から10月5日までの9日間、岩手にニュージーランドのラグビー少年たちがやってきました。来県したのは、クライストチャーチにあるクライスト・カレッジ高校ラグビー部の男子生徒20人。クライストチャーチは、東日本大震災津波が発生する2週間前に、大地震で甚大な被害を受けた都市です。

滞在中は、釜石市と北上市を訪問。県内の高校生と練習に汗を流し、県の高校選抜チームと交流試合を行ったほか、釜石市では釜石高校の生徒たちと震災や防災について語り合い、北上市では鬼剣舞の鑑賞や座禅など日本文化に触れながら、さまざまなことを体験。釜石市と北上市の家庭でのホームステイを通して、岩手の高校生やその家族と交流を深めました。



釜石 ホストファミリー

佐藤永一郎さんご家族
チャールズ君を受け入れた佐藤永一郎さんご家族。左端が節子さん、右端が美里さん。

何度か外国の子どもたちを受け入れた経験がある佐藤さんご家族は、チャールズ君という男子生徒を預かり、2日間を共に過ごしました。家族の中で英語を話せるのは、長男の妻の美里さんだけ。他の家族は身振り手振りや会話をしたと言います。「外国の子どもたちには、津波の話や着物を着せてあげるようにしています。日本の文化を知りたいという意欲的な子が多いですから」と妻の節子さん。交流試合の応援に行ったり、一緒にお祭りに出掛けるなど、交流を深めました。



北上 ホストファミリー

富澤薫さんご家族
2人の高校生を受け入れた富澤さんは5人家族(撮影日はご主人が不在)。真ん中が操菜さん。

富澤さんご家族がホストファミリーを引き受けたのは、ニュージーランドに留学する娘の操菜(あやな)さんのため。少しでも留学先の様子を知りたいと思ったからでした。富澤家にやって来たのは、ルーク君とイングブ君(4ページ上段写真右下)の2人。お互いの家族のことや将来の夢などを語り合い、回転ずしにも出掛けました。「2人との交流がいい刺激に。もっと英語力を磨いて積極的に話せるようになりたいです」と操菜さん。もう少しゆっくりしてほしかったと、名残を惜しんでいました。

エミリーさんのアドバイス

笑顔で接すれば気持ちは通じますよ!

京都や東京より、「本当の日本に出会える」場所として、東北が注目されていることをご存知ですか? 「うちの地域には何にもない」と謙遜する人が多いのですが、ここには美しい自然もおいしい食も、素晴らしい文化も伝統もあります。ラグビー観戦に訪れる外国人が期待するのも、こうした岩手のリアルな姿に触れること。みなさんも故郷に自信と誇りを持って、地域の魅力をたくさん教えてあげてください。言葉が通じなくても、笑顔で接すればおもてなしの気持ちは必ず伝わります。積極的に話し掛けて、どんどん交流しましょう。



釜石市ラグビーワールドカップ2019 推進本部事務局 国際交流員 エミリー・ハラムズさん



世界と新たな絆を結ぼう!!

- ラグビーワールドカップ2019™日本大会開催期間 2019年9月20日(金)~11月2日(土)
- 釜石鶴住居復興スタジアムでの試合開催日 2019年9月25日(水)・10月13日(日)
- 前回大会の公認チームキャンプでは、キャンプ地のグラウンドや施設などでの練習のほか、地元の子どもの交流も行われています。



県内で行われる公認チームキャンプ

いよいよ来年、釜石で開催! 世界中から集まるファンをおもてなししましょう

2019年秋、世界の熱視線が日本に、岩手・釜石に注がれます。ラグビー選手の憧れの舞台であり、4年に一度、世界王者を決める「ラグビーワールドカップ(WM)」。アジア初開催となる来年の日本大会において、東日本大震災津波の被災地である唯一の会場となるのが釜石市です。大会中は多くのファンが集まるこ

とが予想されるほか、参加チームが大会前に直前練習などを行う県内4つの公認チームキャンプ地とその周辺には、4カ国の選手団・関係者が滞在します。世界最高レベルの戦いを観戦できるのはもちろんですが、世界中の方に復興の歩みを進める地域の姿を見てもらい、岩手の魅力をアピールする絶好のチャンス。一人一人が岩手の代表として、世界の選手やファンと交流を深めましょう。

来年6月から 「三陸防災復興プロジェクト2019」開催！

三陸がつながる。
日本各地や世界とつながる。
ひとつになって更に前に進む。

復興の今や三陸の魅力を伝える
多彩なイベントを開催！



1) 感謝の気持ちやつながりを 深める事業

復興に取り組んでいる地域の姿を伝え、国内外からの支援への感謝を示し、さらにつながりを深めていくために。オープニングとクロージングのそれぞれのセレモニーを通じて、岩手の思いを伝えます。

2) 防災力向上に貢献する事業

東日本大震災津波から得られた教訓を世界に、そして次世代に伝えていくため、「三陸防災復興シンポジウム」を開催します。復興からの歩みと地域の現状を見つめながら、将来の備えについて考えます。



3) 文化芸術に関する事業

復興支援を通じて住民との交流が生まれた世界的な音楽家による「さんりく音楽祭2019」や、県内の郷土芸能を一堂に集めた「オールいわて・祭りイベント」を開催します。



4) 三陸の新たな魅力を発信する事業

特徴的な海岸線が続き、豊かな資源に恵まれた三陸海岸。その魅力を体感できる「三陸ジオパークワクワクフェスタ」や、震災や復興の取り組みをテーマにした「いわて三陸学びの旅」などを開催します。



写真提供/岩手日報社
「2018年7月17日刊」より

5) 新たな交通ネットワークを 生かした事業

三陸鉄道が来年3月にひとつにつながることを記念し、「プレミアムランチ列車」、「夜行列車」などの企画列車や、新たな交通網を生かし、ドライブを楽しむイベントなどを開催します。



2019.6.1(土) - 8.7(水)

【会場】岩手県沿岸部 13市町村
宮古市/大船渡市/久慈市/陸前高田市/釜石市
/住田町/大槌町/山田町/岩泉町/田野畑村/
普代村/野田村/洋野町

**復興に取り組む姿を、
震災の記憶と教訓を、
オールいわてで発信！**

三陸鉄道がリアス線としてひとつにつながり、陸前高田市に「東日本大震災津波伝承館」が開館するなど注目を集める2019年。この機会に、復興に力強く取り組む地域の姿を発信し、震災の記憶と教訓を伝える「三陸防災復興プロジェクト2019」を開催します。これは三陸地域だけでなく、県内全ての市町村やさまざまに分野の関係団体と連携し、オール岩手で取り組むプロジェクト。6月から8月までの期間中は、復興の今や、豊かな自然や文化、伝統芸能、食など、三陸の魅力を発信する多彩なイベントを開催。これに合わせ、各団体や企業においても関連する事業を実施していただくことで、全県的な盛り上がりを図っていきたくと考えています。来年の夏は、新たな発見や出会いが待つ三陸にぜひお出かけください。

みんなで 世界の人を迎えよう！

応援団の活動事例

◎出場チームへのおもてなし準備

- ・参加チームの国や地域の学習
- ・外国語の学習

◎環境美化

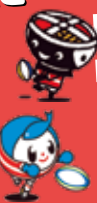
- ・主要道や観光地の花いっぱい運動
- ・沿道や観光地の清掃活動
- ・沿道や駐車場予定地の除草・枝払い活動

◎国内外からの観客へのおもてなし

- ・外国人向け指さし案内表示の設置
- ・横断幕や旗振りなどによる沿道でのお出迎え
- ・敷地内への「のぼり」掲出など

いよいよ、来年秋に迫る「ラグビーワールドカップ2019(TM)日本大会」。せっかくの機会ですから、岩手ならではの準備として、世界中から集まる選手やファンをお迎えしませんか。県では、独自ボランティア「いわて・かまいしラグビー応援団」に参加していただくグループを大募集！地域のみならず参加して、大会を盛り上げましょう。

「いわて・かまいし
ラグビー応援団」に
あなたも参加しませんか？



大平中学校のあいさつ運動



釜石市立大平中学校では、毎週月～金曜日、ラグビーワールドカップ開催までのカウントダウンパネルを持って、あいさつ運動を行っています。

昨年の冬から始めた運動ですが、街頭で声掛けをするようになったのは今年6月から。「世界に通用するあいさつ」をテーマに、①自分から②大きな声で③爽やかに④相手の目を見て⑤笑顔で、と5つのポイントを決めて行っています。

街頭に立つのは毎日1学級で、1～3年の全5学級が日替わりで担当。最初こそ反応が薄かったものの、最近は通り掛かる人が手を振ってくれたり、あいさつを返してくれるように。継続することで反応が変化することを実感した生徒たちは、「世界に通用するあいさつ」を続けながら、世界の人を迎える準備を進めています。

応援団のお申し込み方法

- 募集期間:2019年11月2日(土)まで
- 応募資格:2人以上のグループ(自治会、職場、学校など)
- 応募方法:申込書を電子メール、FAX、郵送でご提出ください。
- 活動へのサポート内容
- ①活動用グッズ(横断幕・のぼりなど)の貸し出し など
- ②活動状況を釜石市や県のホームページで公表

【お問い合わせ・応募受付窓口】

- (1) 釜石市、沿岸市町村、岩手県外に拠点を置くグループの申込先
釜石市ラグビーワールドカップ2019推進本部事務局 〒026-0031釜石市鈴子町 22-1 シープラザ釜石 内
電話:0193-27-8420 FAX:0193-31-1170 E-mail:takahashi2171@city.kamaishi.iwate.jp
- (2) 内陸市町村のグループの申込先
県ラグビーワールドカップ2019推進室(釜石市駐在) 〒026-0031釜石市鈴子町 22-1 シープラザ釜石 内
電話:0193-22-7522 FAX:0193-31-1170 E-mail:AK0004@pref.iwate.jp

申請書はこちらから
ダウンロードできます。



安全運転を心掛けましょう

いちにっさん「1、2、3運動」を実践しましょう

1割スピードダウンしよう。
2倍の車間距離をとろう。
3分早めに出発しよう。



冬道用タイヤを装着しましょう
積雪・凍結路面の走行に備えましょう。

みなさんの協力をお願いします

路上駐車はやめましょう

除雪作業の妨げになります。道路との段差をなくすプレートも障害になります。

間口の除雪にご協力を

降雪や車道の除雪により雪が寄せられる間口付近は、各家庭で除雪をお願いします。



道路への雪出しはやめましょう
路面凍結の原因になるほか、路面が凸凹になり交通事故や渋滞の原因になります。

冬道を快適に！ みんなの力で

3:30 雪を道路脇に寄せる作業開始

5:30 わだちや凸凹を平らに削る路面整形

7:00 歩道除雪

10:00 拡幅除雪

13:00 路面凍結抑制剤散布

除雪作業の流れ

「凸凹を削る」

「いちにっさん」

未明から明け方に降雪がある場合の一般的な作業工程です。降雪状況や地域によっては、明け方に路面凍結抑制剤散布を行うなど、状況に応じた作業を行っています。

ていねいな除雪作業で冬の暮らしを支える

県内全域が豪雪地帯に指定されている岩手では、道路の除雪は、日常生活のみならず救急・消防活動など安全で安心な暮らしを支える欠かせない作業です。

県では、県道と県が管理する国道を除雪しています。除雪区間約3810km(車道部)を、限られた時間で除雪するため、優先順位を付け、専門の職員や建設業者などに委託して実施しています。

一口に「除雪」と言っても、その作業はさまざま。作業音や振動に配慮して明け方から始める作業は夕

- 〈除雪の優先順位〉**
- 1.都市間連絡道路・バス路線 (約3,370km)**
都市間をつなぐ道路、重要公共施設への連絡道路 など
 - 2.地域の生活路線 (約310km)**
地域内の生活路線で、2車線を確保する必要がある道路
 - 3.その他の路線 (約130km)**
1、2に該当しない道路

地域のために力を合わせ みんなのできることを

県が行う除雪作業は、道路と歩道を並行して行うため、降雪量によっては通勤・通学の時間帯までに作業が完了しない場合があります。

そこで県では、県が管理する歩道の除雪に協力してくださる自治会や町内会などに、無料で歩道除雪機械を貸し出しています。

「私たちの地域の国道には、バスの停留所があることや、子どもたちが足元を気にせず通学できるようにと考え、10年前から除雪機を借りてボランティアをしています。うちもともとチームワークがいい地域。1時間半ほど作業に時間がかかりますが、みんなで協力し合っていて続いています」と話すのは、遠野市上宮守文化振興会会長の阿部正一さん。



北上土木センター・西和賀出張所の赤石昭さん。40年以上も地域の除雪を行うベテランです。

「冬はいつ天候が崩れるかわかりませんので、常に気を引き締めて待ちたいです。夜間に雪が降った場合は、明け方3時半から朝7時までの間に、全路線の積もった雪を取り除く必要があります。降雪量が多い時は1日3回出勤することもあります。大変な作業ですが、住民の方から『ありがとう』とファックスが届くこともあり、励みになりますね」と話すのは、北上土木センター・西和賀出張所の赤石昭さん。限られた時間の中で効率的に除雪を行っていますが、個人や地域でできることは皆さんの力をお借りしなければなりません。安全で快適な冬を過ごすため、皆様のご理解とご協力をお願いします。



「子どもたちの通学時間に間に合うよう除雪しています」と話す、遠野市上宮守文化振興会の阿部正一さん。

歩道除雪機械をお貸しします！

県管理道路の歩道除雪に協力いただける方を募集しています。

- ・歩道除雪機械(ハンドガイド)を無償でお貸しします。
 - ・機械の燃料を支給します。
 - ・機械を貸し出す際に操作方法を説明します。
 - ・作業に使用するヘルメット、安全チョッキをお貸しします。
- ※作業のための保険代は県が負担しますが、作業に伴う労務費などの支払いはありません。

【問】最寄りの広域振興局土木部、土木センター
または 県庁道路環境課 019-629-5880

？ ご存じですか？

政策評価レポート2018を公表しています

県では、政策評価などの実施状況をまとめた報告書を作成しています。県ホームページで公表しているほか、県庁行政情報センターなどでもご覧いただけます。

岩手 政策評価 検索

【問】県庁政策推進室 019-629-5181

いわて子育てにやさしい企業等認証制度



県では、仕事と子育ての両立を支援するなど、男女が共に働きやすい職場環境づくりに取り組む企業などを認証しています。認証を受けると、子育て支援に積極的に取り組む企業としてイメージアップが図られるほか、県単融資制度の保証料率引き下げや、(公財)いきいき岩手支援財団の助成金の対象となるなどのメリットがあります。申請をお待ちしています。

いわて子育てにやさしい 検索

【問】お近くの広域振興局保健福祉環境部・保健福祉環境センター

「いわてわんこ節電所」で地球温暖化対策



12月は地球温暖化防止月間です。県では、省エネ行動の成果を見える化するホームページ「いわてわんこ節電所」を開設しています。「いわてわんこ節電所」では、日頃の省エネ行動などから二酸化炭素削減量を確認できる「家庭のエコチェック」のほか、「ワンランク上の省エネ行動」などの地球温暖化対策の情報も紹介しています。「いわてわんこ節電所」を通して地球温暖化対策について考えてみましょう。

いわてわんこ節電所 検索

【問】県庁環境生活企画室 019-629-5271

！ ご利用ください

被災した住宅の再建を目指す方へ

県では、東日本大震災津波により住宅を失い、住宅の再建を目指す方の工務店・土地・中古住宅探しを支援しています。希望に応じた工務店や不動産情報を提供します。お気軽にお問い合わせください。

【問】(一社)岩手県建築士事務所協会 019-651-0784

いわて花巻空港の定期便



いわて花巻空港は、釜石自動車道花巻空港ICから車で3分で、駐車場(1,150台)は無料です。台湾線を往復で利用すると5,000円のキャッシュバックが受けられる「パスポート取得応援キャンペーン」があるほか、国内線もお得なツアーがあります。旅行やビジネスにぜひご利用ください。

台湾線:毎週水曜日と土曜日に各1往復
名古屋(小牧)・大阪(伊丹)線:1日4往復
札幌(新千歳)線:1日3往復
福岡線:1日1往復

【問】岩手県空港利用促進協議会 019-624-6330

多重債務弁護士無料相談

県では、岩手弁護士会と協力して、県内8カ所の消費生活センターなどで、借金でお悩みの方を対象とした弁護士による相談会を開催しています。相談は無料で、秘密は守られます。借金やお金の悩みを弁護士に相談して解決策を見つけましょう。

【問】県立県民生活センター 019-624-2209

募集しています

岩手県学生会館入寮生募集中

東京都豊島区にある「岩手県学生会館」では来年4月からの入寮生を募集しています。【募集人数】30人程度(男子、女子それぞれ15人程度)

【面接の会場と年月日】
○盛岡市(アイーナ)
第1回: 2019年2月16日(土)
第2回: 2019年3月 8日(金)
○東京都(岩手県学生会館)
2019年2月28日(木)まで随時
【選考方法】書類、面接、作文
【費用】寮費 80,000円/月(朝夕2食付)、入寮時諸費用 100,000円
【問】岩手県学生会館 03-3972-4783

お出かけください

県立図書館企画展「初公開!郷土資料展~貴重書庫の中から~」

江戸時代における盛岡藩内の地誌『邦内郷村志』に関係する資料をはじめ、近世から明治までの岩手に関する古文書などを展示します。過去の企画展では公開したことがない貴重な資料ばかりです。

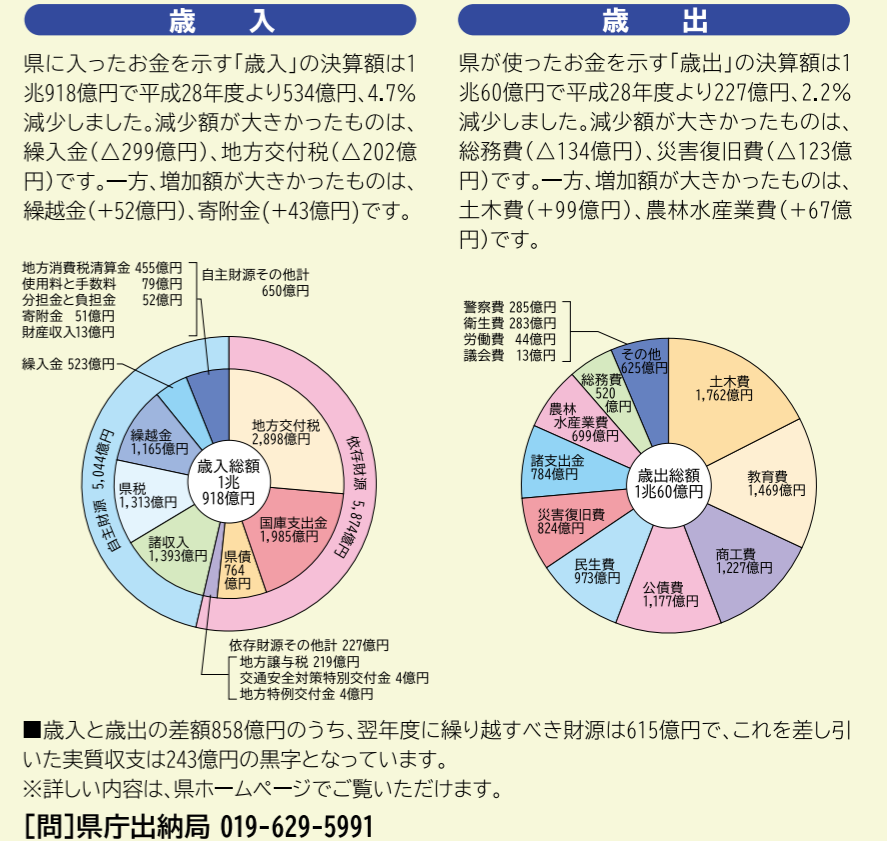
【期間】2019年1月20日(日)まで
※12月28日(金)~1月3日(木)は休館
【時間】9:00~20:00
【場所】4階展示コーナー
【問】県立図書館 019-606-1730

埋蔵文化財センター 公開講座・遺跡報告会

「魅力あふれる東北の中近世城館」と題して東北学院大学文学部竹井英文准教授による講演会と、発掘調査で明らかになった成果に関する報告会を行います。

【日時】2019年1月26日(土)
公開講座 9:50~12:00
遺跡報告会 13:00~15:50
【入場料】無料
【場所】アイーナ7階 小田島組☆ほ〜る
【問】(公財)岩手県文化振興事業団 埋蔵文化財センター 019-638-9001

平成29年度一般会計歳入歳出決算の概要をお知らせします。



震災からの歩み(主なもの) 平成30年9月~

- 9月 16日 平成30年度第2回「いわて復興未来塾」開催
- 29・30日 中心市街地の交通広場完成や高田南幹線道路開通を記念した「陸前高田市まちびらきまつり」開催
- 10月 1日 宮古市役所本庁舎、保健センター、市民交流センターの3つの施設から成る「イーストピアみやこ」供用開始

【被害状況】10月31日現在

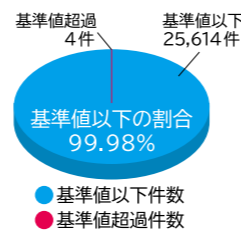
- 死者5,140人(震災関連死467人を含む)
- 行方不明者1,115人(うち死亡届の受理件数1,105件)

放射線影響対策のお知らせ

No.29

県産食材などの放射性物質濃度検査
県や国などでは、県産農林水産物や流通食品などの放射性物質濃度を検査しています。直近の検査結果(平成29年度:25,614件)では、一部地域の野生の山菜、きのこ、鳥獣肉を除き、国の基準値(一般食品の場合は100ベクレル/kg)を超える放射性物質は検出されていません。国の基準値を超えた場合には、出荷制限や販売者による自主回収などを行っています。

県産食材などの放射性物質濃度検査結果(平成29年度)



【問】(県産農林水産物の検査)県庁農林水産企画室 019-629-5621
【流通食品の検査】県庁県民くらしの安全課 019-629-5322
【全般】県庁環境生活企画室 019-629-6815

広聴広報ガイド

県ホームページ
http://www.pref.iwate.jp/



ご意見・ご提言はこちら

手紙・はがき 〒020-8570(住所不要) 岩手県広聴広報課
電子メール koucho@pref.iwate.jp
電話 019-629-5110
受付時間 8:30~17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)
FAX 019-651-4865 [24時間受付]



そばっちが、いわてのことをつがやくよ! みんな拡散してね!

「いわてグラフ」の気になる情報や暮らしに役立つ情報を、そばっち独自の切り口で楽しくご紹介!取材に同行して県内を飛び回り、現場の臨場感を熱く!?お伝えします。

岩手県広聴広報課 ツイッター・フェイスブックはこちら!



県政テレビ番組 「いわて!わんこ広報室」 毎週放送中!!

- テレビ岩手 月曜日 18:54~19:00(再放送)土曜日 21:54~22:00
- 岩手めんこいテレビ 水曜日 21:54~22:00
- 岩手朝日テレビ 水曜日 23:15~23:20
- IBC岩手放送 木曜日 18:55~19:00

※都合により放送時間が変更になることがあります。

3010 運動で 食べ残しを なくしましょう!

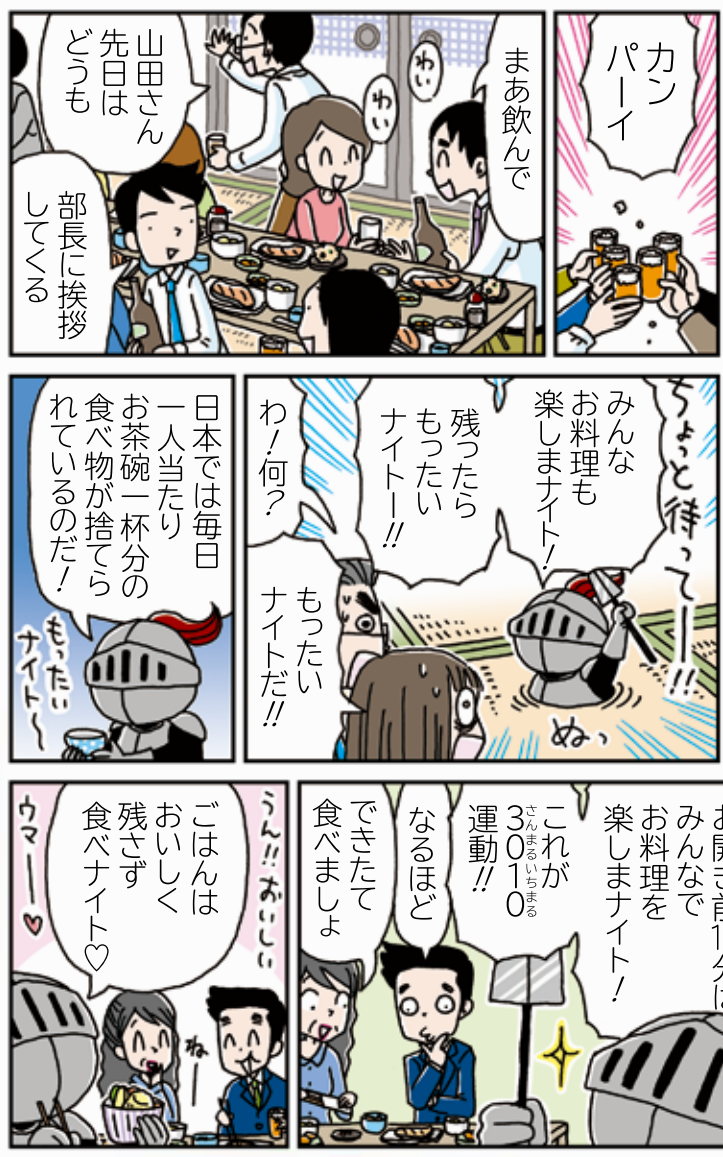
県では食べ残しを減らすために、「3010(さんまるいちまる)運動」を推進しています。宴会では、乾杯後の30分間とお開き前の10分間は、料理を味わう時間とするよう心掛けましょう。

「もったいない・いわて☆食べきり協力店」募集中!

食べ残しを減らす取り組みにご協力ください。登録していただくと県のホームページなどで紹介します。

- 対象 県内の飲食店・宿泊施設
- 取組内容 小盛メニューの導入やポスター掲示、適量注文の呼び掛けなど1つ以上

お問い合わせ先
 県庁資源循環推進課
 019-629-5367



いわて ハッピーライフ



盛岡市在住。「Eleganceイブ」やWEBなどで作品を多数発表。代表作は『レモネード』『ピースを探せ』など。若手の魅力を発信する『コミックいわて』にも漫画を執筆。

Vol.4 食べ残しをなくそう! の巻

訂正 前号(2018年10月1日発行第764号)の「いわてハッピーライフ vol.3健康度をアップしよう!の巻」の お問い合わせ先電話番号に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、右のとおり訂正します。 [正]019-629-5468 [誤]019-629-5469

アンケート&プレゼント

- 記事は分かりやすかったですか? (番号で回答)
 - ①非常に分かりやすい ②分かりやすい ③普通 ④分かりにくい ⑤非常に分かりにくい ※④または⑤の方は、どのような点が分かりにくかったかお書きください。
- 今回の企画に興味を持ったものは何ですか?
- 身の回りで知りたい分野は何ですか? (番号で回答・複数回答可)
 - ①産業 ②医療・福祉 ③防災 ④教育 ⑤環境 ⑥社会資本整備 ⑦その他 ※⑦その他の方は、関心があるものをお書きください。
- 本誌へのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。



A アスパラガスめん 3名様 (金ケ崎町)
 町産のアスパラガスを加工し、うどんに練りこみました。ほんのりグリーンの色合いの麺は、コシが強く、喉ごしも滑らかです。5袋入。
 【問】(一財)金ケ崎町産業開発公社 0197-47-3115



B シフォンケーキ 3名様 (住田町)
 県産の卵を使い、しっとり、ふわふわに焼き上げました。口当たりが優しく、子どもから年配の方まで人気のケーキです。パニョ味。1ホール。
 【問】お菓子工房eat+(イートプラス) 080-8214-3392

アンケートにお答えいただいた皆さまの中から抽選で合計6名様にプレゼント。

住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号・ご希望のプレゼントのアルファベット記号(AまたはB)をお書きの上、はがき、FAX、電子メール、または右の二次元バーコードを読み込んで、応募フォームからご応募ください。
 ■送り先 ○はがき 〒020-8570(住所不要) 岩手県弘聴広報課「いわてグラフ12月号・読者アンケート」係
 ○FAX 019-651-4865 ○電子メール kouhou@pref.iwate.jp ■応募締切/2019年1月18日(金)当日消印有効 ■当選発表/商品の発送(2月上旬ごろ)をもって代えさせていただきます。



※ご記入いただいた個人情報やアンケートの内容につきましては、厳正な管理の下で取り扱い、アンケート集計、プレゼントの発送にのみ利用させていただきます。
 いわてグラフは岩手県が制作する広報誌です。517,000部作成し、県内全世帯に配布しています。1部当たりの単価は、約17円です。